

## 歯科口腔外科ワンチームで 難治性の疾患を日々診療

滋賀県で生まれ、滋賀県で育ち、滋賀県立の病院でお役に立てることを非常に嬉しく思っています。歯科医師の仲間の多くが開業するなか、口腔外科を生涯の仕事として選択しました。時には大変な事もありますが、街の歯科医院からの紹介を受けて治療したり、難治性の疾患を診断・治療したり、他職種と連携してチームで治療する事は何よりやりがいがある仕事です。

当科には頼れる歯科医師の同僚たち、活気のある若い先生、患者さんやスタッフから信頼の厚い非常に優秀な歯科衛生士たちがいて、歯科口腔外科ワンチームとして日々診療を行いながら、患者さんのため、病院のため、切磋琢磨し仕事ができるのは幸せな環境だと思います。

プライベートでは小さな二人の子の父として、休みの日はかわいく無邪気な二人に癒やされています。自由に仕事させてもらっている妻にも感謝です。

病院の歯科口腔外科としてお役に立てることはまだまだ多くあると考えています。口の中の事で困ったことがあれば滋賀県立総合病院へ紹介・受診すれば安心と思って頂ける歯科口腔外科となることを目指して日々研鑽しておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

歯科口腔外科 科長

## 齋藤 翔太



滋賀医科大学博士(医学)  
日本口腔外科学会 専門医  
日本口腔診断学会 認定医  
日本外傷歯学会 認定医・指導医  
2015年より当院に着任  
滋賀県大津市出身

# FACE



### Information

#### 院内紹介動画を配信中!



ふだんは入ることができない手術室の様子などを動画で紹介しています。ぜひご覧ください。

- ▶臨床工学部編～臨床工学技士について～
  - ▶臨床工学部編～人工呼吸器～
  - ▶リハビリテーション科～動画編～
- など



<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensou/center/322221.html>

#### ご意見・ご感想募集

滋賀県立総合病院広報誌「FACE」へのご意見やご感想をぜひお寄せください。お住まい、年齢、ご意見・ご感想を下記フォームよりお送りください。

滋賀県立総合病院の広報誌  
「FACE」に関するアンケートフォーム



心のふれあいを大切にして安全で質の高い医療福祉を創生し提供する。

 **滋賀県立総合病院**  
Shiga General Hospital

〒524-8524 滋賀県守山市守山5丁目4番30号  
TEL.077-582-5031(代) / 0570-00-5031(ナビダイヤル)  
[診療受付時間] 午前8時30分～午前11時 ※2科受診の患者様を除く  
[休診日] 土曜日・日曜日、祝祭日/年末年始(12/29～1/3)  
<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensou/index.html>

病院HP



滋賀県立総合病院

# FACE

滋賀県立総合病院広報誌

発行：滋賀県立総合病院広報委員会(事務局総務課)  
発行日：2023年9月

バックナンバーも  
ご覧いただけます



## 【特集】 歯科口腔外科

# 医科と歯科の架け橋となり 口腔と全身の健康を



## 歯科口腔外科のはたすべき役割

歯科口腔外科は口腔(口の中)、顎(あご)、顔面の疾患を扱う診療科です。最も多いのは親知らずの抜歯ですが、歯が原因となるものから、嚢胞、良性腫瘍、がん、外傷、顎変形症、粘膜疾患など様々な疾患が対象となります。

高齢化や、全身と口腔との関連が明らかになることによって、病院の歯科口腔外科の役割は大きく変わってきました。口腔外科疾患の治療のみならず、全身的な疾患があり歯科医院では困難な抜歯などの外科処置や、手術や抗がん剤治療時などの口腔ケアも重要な役割です。また医科と歯科の架け橋的な役割も担うべきと考えています。

## お口のためだけでない口腔ケア

院内の他診療科で全身麻酔の手術、抗癌剤治療、放射線治療などを行う患者さんに対して、周術期口腔ケアとして口腔内を清潔に保つことで、主疾患の治療が円滑に行え、口内炎や肺炎といった合併症を未然に防ぐ取り組みを行っています。その他、頭頸部外科チームの一員として、術前術後の口腔管理、手術時の再建、術後の咬合再構築を行っています。

また、入院患者さんに対して、看護師がOHATというスクリーニングシートを用いて口腔内状態が不良な患者さんを見つけ、歯科口腔外科へ対診ができるシステムを構築し、口腔ケアを行い、誤嚥性肺炎のリスクを下げる仕組みづくりにも取り組んでいます。

## 地域の歯科医院と専門領域を分けて役割分担

う蝕や歯周病など一般的な歯科治療は歯科医院にお願いして、当院では、歯科医院では困難な外科処置、口腔外科疾患の治療を行っています。近隣の歯科医院と顔の見える関係性を作り、それぞれの専門治療領域を分けて、ともに患者さんのお口の健康を維持できればと考えております。特に、近年当科では、インプラント治療、顎変形症治療に力を入れています。

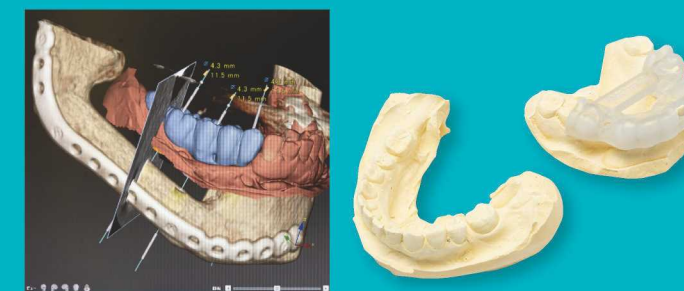
### 2022年実績

インプラント埋入本数 **65本**  
顎変形症手術件数 **36件**

## 歯科インプラント治療

歯を失った部分の治療にはブリッジ、義歯、インプラントがあり、利点欠点があります。インプラントはまわりの歯を削る必要も負担をかけることもなく、元の歯のようにしっかり咬め、審美性にも優れます。当院ではCTデータと歯の模型を利用し、3D手術ガイドを作成することにより、正確・安全かつ短時間で手術が可能となりました。顎の骨が不足している場合、骨の増生が必要となります。口腔外科の技術を活かし、骨が足りない部分への骨移植を行いインプラント治療する症例も多くなっています。

インプラント治療は基本的に保険外治療ですが、当院ではがんや外傷などにより広範囲に顎骨を失った方には保険治療が可能です。



インプラント治療のCTシミュレーションと3D手術ガイド

## 顎変形症治療

歯並びだけでなく、顎骨の前後的や左右のゆがみにより上下の歯のかみ合わせが大きくずれている場合、「顎変形症」と診断されます。このような状態では、かめない、話しづらいなどの障がいや、歯、顎関節への悪影響が出ます。また受け口などと言われ容貌を悩む事も少なくありません。現在では矯正治療に顎矯正手術を組み合わせ、保険で治療する事が可能です。顎矯正手術は、上顎骨、下顎骨を全身麻酔手術で切断し、前後、上下、左右に移動させます。年々患者さんは増加傾向にあります。

顎顔面は機能面、審美面でも非常に重要な部分です。信頼できる矯正歯科専門医と連携し、患者さんにあった適切な方法を検討し、患者さんとともに治療法を模索し、最良の結果が得られるように努力しています。



患者さんのCTデータから作成した治療前の顎骨3Dモデル